

令和 2 年度 事業報告書

社会福祉法人 いなべ市社会福祉協議会

◎地域福祉課

地域福祉係

1 地域福祉推進事業

(1) 各種相談事業

心配ごと相談所の開設

相談種類	開所回数	実 績
一般相談	9 回	4 件
弁護士相談	17 回	83 件
司法書士相談	6 回	18 件

(2) ボランティアセンター事業

- ・ボランティア相談件数 20 件、コーディネート件数 10 件
- ・災害ボランティアコーディネーター定例会 5 回 延べ参加者数 28 名
- ・ボランティアセンターだよりの発行 (5 月)
- ・ボランティア登録数 1,899 名
- ・分野別ボランティア活動者交流会 (9 月 29 日、10 月 27 日、11 月 24 日実施)
延べ参加者数 53 名 37 団体
- ・ボランティア会議「こころ」5 回 延べ参加者数 38 名
- ・いなべ市ボランティア連絡協議会設立総会 (3 月) 参加者数 30 名
加入団体 10 団体 加入者 5 名 (令和 3 年 3 月末現在)
- ・食品ロス削減に向けた取り組み 2 回 (8 月 1 日、9 月～10 月)
寄附 550 キロ 提供 163 セット
- ・手作りマスク 作成協力者 109 名 配付数 5,313 枚

(3) 共同募金事業

令和 2 年度 募金総額 5,678,718 円

令和元年度 (令和 2 年度充当) 配分交付決定額 4,538,375 円

配分金事業

老人福祉活動 (2 事業)

- ・地域におでかけ事業 利用者数 123 名 協力店舗 18 店舗
- ・あんしん電話事業 登録者数 10 名 実施回数 50 回

母子・父子福祉活動事業 (1 事業)

- ・ひとり親家庭支援事業 助成人数 2 名

福祉育成援助活動 (4 事業)

- ・歳末ふれあい事業 対象者数 932 名
- ・共同募金啓発事業 公用車への PR マグネット貼付、市内中学校・高等学校への説明、独自啓発グッズ (鉛筆) の作成と配布
- ・ひきこもり支援事業「まかろん」
集いの場 9 回 延べ参加者数 124 名
講演会 1 回 参加者数 32 名

・備品貸出機器整備事業 機器整備数 8件

ボランティア活動育成（1事業）

・ボランティア団体助成事業 助成団体数 27団体

(4) おむつ給付事業

給付対象者 120名 年間給付件数 1,455件

(5) 緊急通報装置設置事業

業 者	件 数
ALSOK あんしんケアサポート	5件
N T T西日本	6件

(6) 寝具洗濯サービス事業

登録者数 6名 延べ利用件数 8件

(7) 訪問理容サービス事業

登録者数 15名 延べ利用件数 31件

(8) 敬老事業（委託事業）

祝品贈呈 喜寿 450名 米寿 272名

(9) 福祉サービス利用審査会

新規サービス申請者の利用決定における審査会 12回開催 審査件数 87件

(10) 日本赤十字社社資増強運動

令和2年度 総額 5,295,502円

(11) 社協会費募集実績総額 5,933,000円

（内訳）

個人会員 10,103世帯

賛助会員（個人） 301名

賛助会員（法人） 110事業所

(12) ふれあい弁当配布事業

登録者数 296名 実施回数 56回 延べ配布件数 3,110件

新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月～6月まで事業休止

(13) 外出支援・移送サービス事業

登録者数 30名 延べ利用回数 0回

新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業休止

(14) 福祉用具貸与事業

物 品	延べ貸与件数
車イス	89件
スロープ	5件

(15) ふれあいサロン事業

【ふれあいサロン】 実施回数 128回 延べ参加人数 3,554名

北勢：54回 1,202名 員弁：23回 695名

大安：32回 1,167名 藤原：19回 490名

【ふれあい訪問活動】 実施回数 27回 延べ参加人数 1,806名

北勢：8回 415名 員弁：4回 78名

大安：13回 1,201名 藤原：2回 112名

(16) ふれあいマップ

ふれあいマップ提出地区 114地区 情報提供 1, 171件
関係機関等へのつなぎ 5件

(17) 福祉教育推進事業

福祉体験の実施：ワークショップ6時限、アイマスク体験6時限、
当事者講義（視覚障がい）12時限、当事者講義（聴覚障がい・手
話体験）8時限、車いす体験6時限、手話体験2時限、
点字体験22時限、認知症サポーター養成講座8時限、
盲導犬2時限

福祉協力校の登録：市内小学校11校、中学校4校、高校1校

(18) 障がい者スポーツ交流会の中止

(19) 生活交流会事業

知的障がい者生活交流会

- ・レクリエーションスポーツ文化活動 4回 延べ参加者数 22名
新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月、7月は事業中止

精神障がい者生活交流会

- ・レクリエーションスポーツ文化活動 4回 延べ参加者数 10名

(20) いなべ市生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）（いなべ市委託事業）

いなべ市地域力強化推進事業

1. 5層協議体

開催回数 30回（内訳：北勢町8回、員弁町8回、大安町6回、藤原町8回）
延べ参加者数 512名（内訳：北勢町150名、員弁町96名、大安町125名、
藤原町141名）

福祉委員会

- ・福祉委員会設置自治会数 60地区（旧モデル地区4地区）
- ・相談支援中および次年度活動予定自治会数 34地区
相談回数 延べ292回
- ・福祉委員会代表者交流会（福祉委員長交流会） 43委員会が参加
- ・生きがい活動促進事業「ひなた」 新規登録者数7名

2 各種団体事務局業務

(1) 民生委員児童委員協議会連合会

	事業内容
いなべ市	役員会、部会・総会（書面議決）、全員研修（認知症サポーター養成講座）、県民児協主催行事（理事会・代議員会（書面議決）・在宅福祉委員会）への参加、主任児童委員会（定例会・研修会）、ホームページ開設
北勢地区	定例会、部会、ふれあい弁当配布、夏季友愛訪問、町内小中学校へのマスク寄贈
員弁地区	定例会、部会、ふれあい弁当配布、夏季友愛訪問、登校時の見守り支援、町内小中学校、友愛訪問対象者へのマスク、消毒液の寄贈

	事業内容
大安地区	定例会、部会、ふれあい弁当配布、夏季友愛訪問、町内小中学校へのマスク寄贈
藤原地区	定例会、部会、夏季友愛訪問、一人暮らし・高齢者等世帯訪問連絡票作成、高齢者施設交流事業（花植え）、町内小中学校へのマスク寄贈

(2) 老人クラブ連合会

	事業内容
いなべ市	役員会、役員研修、友愛訪問活動
北勢地区	役員会、定期大会、保育園児との交流会、社会奉仕の日（清掃活動）
員弁地区	理事会
大安地区	会長・女性代表合同会議
藤原地区	役員会、役員研修、社会奉仕の日（清掃活動）

(3) 身体障がい者福祉会

	事業内容
いなべ市	役員会、総会（書面議決）、広報発行1回、障がい者週間PR活動

3 各種サポーター活動支援

(1) サロンサポーター、地域サポーター合同定例会

- ・新型コロナウイルスの影響により、例年実施している定例会は中止し、304名（サロンサポーター218名、地域サポーター159名として活動している方※重複者73名）を対象に、アンケートでの状況把握を行った。

(2) 四季の家

- ・定例会 10回
- ・地区別開催 藤原8回（延べ参加者数117名）
員弁8回（延べ参加者数94名）
大安9回（延べ参加者数140名）
北勢8回（延べ参加者数101名）

4 第3次地域福祉活動計画の推進

(1) 地域福祉活動計画コア会議 12回

地域福祉活動計画事務局会議12回

地域福祉活動計画推進委員会 3回

地域福祉活動計画ワーキング73回

(2) 社会福祉協議会における出前講座の実施

テーマ名	出前回数
足腰を鍛えて、介護予防を目指そう	1回
認知症予防レクリエーション	2回
園芸を取り入れた健康づくり	6回
介護保険の利用について	1回
認知症サポーター養成講座	4回

介護予防事業係

1 青空教室事業（いなべ市委託事業）

運動コース

登録者数 38名 延べ利用者数 706名

園芸コース

登録者数 83名 延べ利用者数 749名

出張型介護予防啓発

実施回数 9回 参加者総数 172名

介護予防セミナー

実施回数 9回 参加者総数 201名

2 いなべ市介護予防・生活支援サービス事業 通所型短期集中予防サービスC

はつらつ教室（いなべ市委託事業） 2ヶ所（北勢・員弁）

登録者数 35名 延べ利用者数 1,152名

はつらつクラブ後方支援 11団体

介護予防集いの会 未実施

3 おたっしや訪問活動 651名（うち、実態把握数 525名）（いなべ市委託事業）

◎地域生活支援課

いなべ市地域包括支援センター（いなべ市委託事業）

1 包括的支援事業

（1）総合相談支援事業

○総合相談

延べ相談件数 3,303件

○民生委員児童委員との連携

民生委員児童委員からの相談及び連絡調整件数 165件

民生委員児童委員協議会定例会参加回数 42回（4地域）

○お助け箱の設置

設置数 1,644件

（2）権利擁護事業

高齢者虐待（身体・心理的虐待等）対応内容（重複有）件数 38件

（うち、虐待と認められた件数 25件）

（3）包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

ケアマネジメント支援会議 1回

主任介護支援専門員勉強会 2回
地域密着介護保険施設等運営推進会議 5回
ケアプラン点検 5回
民生委員児童委員とケアマネジャーの連携勉強会 4回（各町1回ずつ）
桑員支部介護支援専門員研修委託回数 5回
市内医療機関等関係機関への訪問 22回
病院連携会議等の開催・参加回数 15回
医療ソーシャルワーカーとケアマネジャーの意見交換会 1回
地域支援ケース会議 26回
ケアマネジャーの後方支援（相談支援）件数 455件
ケアマネ通信の発信回数 4回
包括通信 5回

（4）介護予防ケアマネジメント事業

介護予防支援・介護予防ケアマネジメント給付管理延べ件数
包括（直接）920件 委託 583件
介護予防個別ケア会議 開催件数 タイプA 24回 タイプB 16回

2 任意事業

（1）高齢者見守りネットワーク事業

通報件数 31件
徘徊SOSネットワーク
協力団体届出件数 328団体
事前登録者数 62名

（2）認知症カフェ「おれん家`カフェ」

実施、参加回数 8回

（3）介護予防等普及啓発事業

出前講座 延べ参加者数 130名
広報 社協だよりにて地域における高齢者関連活動紹介の掲載回数 6回

3 いなべ市もの忘れ初期集中支援チーム事業

（1）チーム専門職（チーム医、認知症地域支援推進員、チーム員等）が協働し認知症の早期診断・早期治療に向けた、包括的・集中的な支援を行った。

チーム員会議 8回 うち、支援検討ケース 59件
もの忘れ初期集中支援チーム検討委員会 1回
チーム員対応件数（訪問・来所等） 181件
チーム員としてかわり改善や繋ぎ先が決定等により終了したケース 13件

（2）その他活動状況

認知症疾患センター（東員病院）との連携WEB会議 令和3年1月～開催 3回
認知症ケース相談会へアドバイザーとしての参加 3回

4 その他

(1) 『お電話くださいカード』事業

桑員地域の医療機関の協力を得て、『気になるケース』の方へ、カードを配布し、相談窓口案内の紹介を行う。東員町地域包括支援センターと共同で事業を開始した。

(2) いなべ市地域包括支援センター いなべ総合病院支所（ランチ）との連携

令和2年4月より、いなべ総合病院内にランチ（総合相談）が設置された。ランチの適切な運営支援や情報共有により、地域の福祉の向上や円滑な医療連携を図る取り組みを行った。

- ・ランチ事業運営の支援
- ・総合相談ケースの情報共有・引継ぎ等支援
- ・虐待ケースの協働支援
- ・ランチへの包括職員派遣による勉強会の開催（令和元年度～）
- ・月一回の定例会議の開催 等

いなべ日常生活自立支援センター

1 日常生活自立支援事業（県社協委託事業）

利用者（契約者） 47名 延べ相談支援件数 831件

2 生活福祉資金（県社協委託事業）

教育支援資金 2件 コロナ特例貸付 352件

3 小口生活資金貸付 22件

4 法人後見事業

法人後見委員会 年4回実施 受任件数 3件

いなべ市くらしサポートセンター縁

1 生活困窮者自立支援事業（いなべ市委託事業）

自立相談支援事業 相談件数 398件 プラン作成総数 25件

就労支援対象者（プラン期間中に一般就労を目標にしている） 18名

家計改善支援事業 4件

就労準備支援事業 4件

住居確保給付金 10件

2 被保護者就労支援事業（いなべ市委託事業）

延べ就労支援件数 136件

3 緊急用食糧品給付事業 1件

- 4 みえ福祉の「わ」創造事業
生活困窮者支援緊急食糧提供事業 34件
緊急時物品等支援事業 2件

◎介護保険事業部門

居宅介護支援事業

- 1 ケアプラン（居宅サービス計画書）の作成
 - （1）特定事業所加算（Ⅱ）取得事業所
 - （2）介護保険年間請求件数 3,848件
契約件数 344件
ケアマネジャー職員数 13名
- 2 資質向上のため研修会開催・参加について
 - （1）週1回の業務会議開催（毎週水曜定期開催） 45回
 - （2）いなべ市地域包括支援センター主催研修会等 3回
 - （3）三重県介護支援専門員協会桑員支部主催研修（いなべ市委託研修含む） 7回
- 3 総合相談の受付・福祉サービス調整業務（電話・来所等） 107件
- 4 地域包括支援センターから予防プラン作成の受託
介護保険（予防）年間作成件数 264件
契約件数 20件
- 5 主任介護支援専門員活動内容（いなべ市及び地域包括支援センターからの協力依頼）
 - （1）介護保険ケアプラン点検立会い
 - （2）いなべ市居宅介護支援事業所連絡会代表
 - （3）介護予防個別ケア会議の委員として参加
 - （4）ケアマネジメント支援会議の運営協力

訪問介護事業

- 1 介護保険訪問介護

（介護）	契約者数	72名	延べ件数	8,216件
（総合事業）	契約者数	8名	延べ件数	427件
- 2 福祉有償運送事業

	登録者数	延べ件数
身体障害者	9名	250件
要介護認定者	32名	991件
要支援認定者	3名	79件
精神障害者	2名	11件
知的障害者	1名	24件

<地区別会員数>

北勢	17名
員弁	9名
大安	16名
藤原	5名

通所介護事業

事業所	事業	定員	契約者数	介護度別	延べ利用者数
ふじわらデイ	介護	34名	63名	要介護1 19名 要介護2 19名 要介護3 14名 要介護4 7名 要介護5 4名	6,034名
	総合	34名	7名	事業対象者 1名 要支援1 3名 要支援2 3名	412名

認知症対応型通所介護事業

事業所	事業	定員	契約者数	介護度別	延べ利用者数
デイ悠庵	介護	12名	10名	要介護1 6名 要介護2 1名 要介護3 2名 要介護4 1名 要介護5 0名	1,859名
	予防	12名	0名	要支援1 0名 要支援2 0名	0名

○デイボランティアあじさい等活動

ふじわらデイ 延べ活動者数 23名

介護職員初任者研修

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催中止

◎障がい者福祉サービス事業部門

相談支援事業

- 1 障害福祉サービスの調整・マネジメント
計画相談支援 年間請求件数 529件
障害児相談支援 年間請求件数 165件
- 2 障害者等相談支援事業（障がい児・者の総合相談）（いなべ市委託事業）
相談支援を利用している方の実件数 161件
相談支援を提供した延べ件数 2,848件

訪問介護事業

- 1 居宅介護 契約者数 33名 延べ件数 3,977件
- 2 同行援護 契約者数 9名 延べ件数 118件
- 3 障害者移動支援事業（いなべ市委託事業） 契約者数 19名 延べ件数 41件

日中一時支援事業（いなべ市委託事業）

ふじわらデイ 契約者数 1名 延べ利用者数 89名

オレンジ工房あげき

- 1 利用者への充実した支援提供
 - （1）利用者一人ひとりの得意作業について分析し、仕事に“やりがい”や“楽しみ”が継続できるよう作業内容を検討した。
 - （2）令和2年度については、職員数減の影響から、就労移行支援事業の休止を余儀なくされたため、就労に必要な能力・知識を得るための支援は行えなかった。
 - （3）コロナ禍の中、利用者が楽しみにしている外出レク等については、実施することができなかった。
 - （4）生活介護利用者で希望する方については、歩行訓練や関節可動域訓練などの運動を提供した。
 - （5）コロナ禍で利用されなくなった利用者もいたが、毎月1回定期的に利用していただく利用者もおり、家族の負担軽減を行った。また、短期入所の受入れ先のなかった重度通所者の受入れを行った。
- 2 事業所としての質の向上
 - （1）責任ある態度で支援に努めることはできたが、利用者への気付きや観察力を高めるまでは至らなかった。

- (2) 一部の職員は、利用者および保護者からの相談に乗ることができていたが、すべての職員とまでは至らなかった。また、コミュニケーション力や相談技術の向上に至る研修も取り組めなかった。
- (3) 日々の業務に追われ、連携力の強化やチームワークの構築までは至らなかった。

3 利用者の作業と工賃の充実

- (1) 従来の企業の下請け作業、カゴ洗浄作業は継続し、新しくお菓子工房でお菓子製造を開始した会社からの下請け作業、お菓子の販売委託等、新しい作業内容の充実に努めた。
- (2) オレンジ工房あげき工賃支給要綱に基づき、適切な支給を行った。コロナ禍のため、企業からの下請け作業が減ったこともあり、2年度については、工賃の向上につながらなかった。

4 関係機関との連携強化

- (1) 強化までは至らなかったが、各種会議に参加し、関係機関と連携を行った。
- (2) 相談支援事業所との連携を行い、短期入所の受入れ先のなかった、オレンジ工房利用者を短期入所で受入れを行った。
- (3) コロナ禍のため、外部の方との交流を図ることを行わなかったため、関係性は構築できなかった。

5 安定した運営（経営）の見直しと選んでもらえる事業所になるための工夫

- (1) 事業運営体制を見直し、令和元年度より時間外勤務を大幅に減らすことができた。また、新型コロナウイルス感染症関係の補助金を積極的に申請し、事業所内で必要な備品や消耗品等の購入に活用することができた。
事業所としての収益を上げ、また、利用者ニーズに応えるため、令和2年7月から祝日開所を行った。
- (2) 事業所のパンフレットやホームページなどを更新することができなかった。また、社協のSNSの活用も行えなかった。
- (3) コロナ禍のため、事業所をPRするまでには至らなかったが、くわな特別支援学校生2名を実習生として受け入れた。

6 延長利用サービス（独自事業）

4月	1名	(5回	6時間)
5月	1名	(3回	4.5時間)
6月	1名	(5回	6.5時間)
7月	2名	(6回	7.5時間)
8月	2名	(5回	5時間)
9月	1名	(1回	1時間)
10月	1名	(1回	1時間)
12月	1名	(1回	1時間)
1月	1名	(1回	1時間)

7 日中一時支援事業（いなべ市委託事業）

令和2年度においては利用者なし。

8 障がい者日常生活訓練事業（LUTE事業）

(いなべ市委託事業)

訓練対象者 前期 1 名 後期 2 名

延べ訓練回数 109 日

訓練内容（回数） 調理（86 回）、掃除（48 回）、洗濯、洗濯たたみ（80 回）
買い物（20 回）、入浴（23 回）

指導員情報交換会 14 回

9 利用者数（実績）

就労継続支援 B 型

利用者数 23 名

延べ利用者数 4,919 名

生活介護

利用者数 28 名

延べ利用者数 5,290 名

短期入所

延べ利用者数 11 名

◎保育事業部門

1 入所園児数

保育園名	定員	入所園児数 [令和 3 年 3 月末現在]						
		0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
石樽保育園	140 名	6 名	13 名	16 名	36 名	27 名	41 名	139 名
三里保育園	90 名	—	—	10 名	29 名	37 名	32 名	108 名
丹生川保育園	60 名	—	—	7 名	12 名	8 名	14 名	41 名
山郷保育園	120 名	—	—	17 名	46 名	25 名	22 名	130 名
員弁西保育園	200 名	5 名	12 名	19 名	43 名	54 名	57 名	190 名

2 保育園の主な行事

令和 2 年度は、従来の実施方法から感染予防対策を意識した実施方法に変更

人の出入りは最小限に、最小単位での活動で、子どもたちが主体的になれる行事の実施

○4 月 20 日～5 月 31 日までを登園自粛の依頼期間

○生活の中で節目となる行事 入園式（4 月）、卒園式（3 月）

○季節を感じ、伝統行事の体験 なつまつり（7 月）、運動会（10 月）

クリスマス会（12 月）、節分豆まき（2 月）

○園児の仲間づくりを意識した行事 遠足（10 月）、生活発表会（12 月）、遠足（3 月）

3 一時預かり事業（いなべ市委託事業）

保護者の病気、家族の看護や介護その他事由により家庭において保育を受けることが一時的に困難となった児童の一時的な保育の実施

石樽保育園 利用延べ人数：20 名 利用延べ日数：58 日

山郷保育園 利用延べ人数：5 名 利用延べ日数：7 日

員弁西保育園 利用延べ人数：3 名 利用延べ日数：8 日

4 障がい児保育事業の充実（いなべ市委託事業）

公立保育園に保育士を派遣し、障がい児保育の理解を深めた。

ほくせい保育園：3名 治田保育園：2名 員弁東保育園：4名
 笠間保育園：3名 ふじわら保育園：4名

5 子育て支援センター事業（いなべ市委託事業）

新型コロナウイルス感染予防対策を意識した事業の実施

○4月18日～5月24日までを休館

5月25日～6月30日まで午前中のみ開館

7月1日～7月31日まで午前の開所に加え、週2日のみ午後も開館

○休館中・12月・3月の年3回は、手作りおもちゃに子育て応援メッセージを添えて
 未就園児の全戸配布、状況把握を実施

石榑子育て支援センター はっぴい・はあと 3回配布計 340名

北勢子育て支援センター すこやかランド 3回配布計 506名

員弁子育て支援センター なかよしひろば 3回配布計 585名

○利用時間は、1組90分とし市内の方のみ利用

○午後は1歳おめでとう訪問などの訪問活動を中心にした事業の実施

○ほとんどの行事を中止としたため、利用者が季節を感じてもらえるように室内及び活動遊びにおいて雰囲気づくりの工夫を行った。

開所日数と利用者数

区 分	石榑子育て支援センター はっぴい・はあと		北勢子育て支援センター すこやかランド		員弁子育て支援センター なかよしひろば	
年間開所日数	219日		222日		222日	
対 象	延べ 利用者数	内新規 利用者数	延べ 利用者数	内新規 利用者数	延べ 利用者数	内新規 利用者数
～12ヶ月	280名	32名	259名	41名	328名	44名
0歳児	454名	32名	736名	39名	1,015名	57名
1歳児	629名	16名	712名	18名	884名	10名
2歳児	676名	1名	955名	2名	799名	8名
3歳児以上	7名	7名	21名	0名	18名	0名
保護者	1,543名	50名	2,025名	57名	2,503名	86名
合計	3,589名	132名	4,708名	157名	5,547名	205名

※～12ヶ月：R2.4.2～R3.4.1生 0歳児：H31.4.2～R2.4.1生

訪問事業（年間実績件数）

	石榑子育て支援センター はっぴい・はあと	北勢子育て支援センター すこやかランド	員弁子育て支援センター なかよしひろば

1歳おめでとう訪問	53件	71件	81件
ブックスタート	9件	28件	10件
ブック・Reスタート	12件	16件	7件

◎法人運営部門

1 会務の運営

<理事会>

	開催日	議 案 内 容
第67回	4月13日	第57回評議員会の開催
第68回	6月11日	令和元年度事業報告、令和元年度社会福祉事業会計および公益事業会計決算、令和2年度社会福祉事業会計および公益事業会計第1次補正予算、評議員選任候補者の推薦、第58回評議員会の開催
第69回	10月29日	育児・介護休業等に関する規則の一部改正、令和2年度社会福祉事業および公益事業会計第2次補正予算、第59回評議員会の開催
第70回	3月5日	定款の一部変更、事務局規程の一部変更、処務規程の一部変更、令和2年度資金の積立て、各種積立資金の取り崩し、令和2年度社会福祉事業および公益事業会計第3次補正予算、積立金の目的変更、令和3年度事業計画、令和3年度社会福祉事業および公益事業会計予算、令和3年度利益相反契約、事務局長の解任及び選任、第60回評議員会の開催
第71回	3月31日	常務理事の選任

<評議員会>

	開催日	議 案 内 容
第57回	5月11日	役員の選任
第58回	6月26日	令和元年度事業報告、令和元年度社会福祉事業会計および公益事業会計決算、令和2年度社会福祉事業会計および公益事業会計第1次補正予算
第59回	11月17日	令和2年度社会福祉事業会計および公益事業会計第2次補正予算

	開催日	議 案 内 容
第 6 0 回	3 月 2 6 日	定款の一部変更、役員の報酬等に関する規程の一部変更、役員の選任、令和 2 年度社会福祉事業および公益事業会計第 3 次補正予算、令和 3 年度事業計画、令和 3 年度社会福祉事業および公益事業会計予算

<評議員選任・解任委員会>

	開催日	議 案 内 容
第 8 回	6 月 1 8 日	評議員の選任 1 名

2 事業運営の透明化

法人運営の透明性を確保するために、社会福祉法に定める定款、計算書類および事業報告、役員等名簿について、主たる事務所に備え置いた。また、ホームページにも社会福祉法に定める事業計画書等の必要書類を掲載した。

3 財務規律の強化

適正かつ公正な支出管理のために、監事による月例監査を 6 回、決算監査（令和 3 年 5 月 1 3 日）を実施した。また、内部監査を 4 回実施し、監事による監査のみならず、職員による内部監査を実施することにより、健全な財務状況が確保できるよう強化を行った。

4 福祉サービス苦情・要望改善事業

苦情要望件数 1 5 件

新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、福祉サービス苦情・要望改善事業第三者委員会は次年度に延期した。苦情が発生した際は、迅速かつ丁寧な対応をおこない、利用者の権利擁護、満足度の向上に努めた。

5 職員の資質向上（職員研修事業等）と人材育成

職員研修基本方針に基づき、下記のとおり研修を実施した。新型コロナウイルスの影響で集合研修の大半は中止及び延期となった。

研修の内製化、階層別研修の内容については、検討に至らなかった。

<全体研修>

法人が目指す職員像に基づき、職員育成を目的として実施した。

研修テーマ	実施日	参加数
健康管理研修	2 月 2 6 日	2 0 名
	3 月 2 日	2 0 名

<部門別研修>

各部署の業務に沿って必要とされる研修を企画実施し、専門職としてのスキル、技術の向上を目指し実施した。

① 地域福祉課

研修テーマ	実施日	参加数
アセスメント強化研修	10月23日	6名
応急手当・救命処置	1月22日	12名
障がい者支援に関する研修	2月25日	11名
認知症に関する研修	3月9日	14名
園芸福祉講習	3月12日	7名

② 地域生活支援課

研修テーマ	実施日	参加数
障害年金受給へのサポートについて	11月26日	8名
相談援助研修	12月3日	5名
もの忘れ初期集中支援チームについて	3月12日	8名

③ ケアプランセンター

研修テーマ	実施日	参加数
障がい特性について学ぶ	10月13日	4名
相談スキル向上研修	1月13日	10名

④ 通所介護事業

研修テーマ	実施日	参加数
医療に関する研修	5月28日	22名
認知症ケア研修	7月2日	10名
防災訓練研修	9月23日 24日	20名
応急手当・救急処置研修	10月20日 22日	18名
リスクマネジメント研修	11月24日 26日	21名
スキルアップ研修	3月11日 12日	17名

⑤ 訪問介護事業

研修テーマ	実施日	参加数
コミュニケーション研修	7月22日	15名
障害の理解研修	9月24日	12名
リスクマネジメント研修	11月30日	11名
支援時の相談に関するスキル研修	1月13日	13名
プライバシー保護研修	3月30日	12名

⑥ 障がい支援課

研修テーマ	実施日	参加数
応急手当・救命措置研修	2月12日	11名
障害者総合支援法についての理解	3月12日	11名

6 各種規程の適正管理

育児・介護休業等に関する規則において、1時間単位からの休暇が取得できるよう改正をおこなった。パートタイム・有期雇用労働法の施行にともない、雇用管理の改善等について明文化した。新規事業の開始に向けて定款の変更、事務局規程、処務規程の改正をおこなった。

7 職員の健康管理・衛生管理事業

安全衛生委員会 2回（7月、2月開催） 安全推進会 14ヶ所 月1回開催
各職場で、安全推進会および職場巡視を毎月実施し労働災害防止に努めた。

車両乗車前の点検の啓発強化の取り組みと車両事故再発防止教育を実施するなど、車両事故削減に努めた。

ストレスチェック制度による、ストレスチェックを実施

ストレスチェック実施後の高ストレス者の産業医面談に一部つなぐことができた。

健康診断受診職員数（8月～11月実施） 257名

健康診断受診結果による健康相談（産業医） 0名

健康診断受診結果による保健指導（保健師） 1名

健康診断受診結果による再検査等の受診を促し、早期治療による職員の健康管理を徹底した。

職員健康相談（保健師および産業医）

月1回開催 延べ利用者数 68名

心身の健康維持、また心身の健康回復へと繋ぐことができた。

8 実習、職場体験等の受入れ

保育実習は、新型コロナウイルスの感染拡大防止を鑑みて中止とした。職場体験・実習は、特別支援学校の生徒1名のみの受け入れとなった。

実習・体験目的	受け入れ先	受け入れ数
職場実習	オレンジ工房あげき	2名

9 広報活動の拡充

社協だより 発行回数6回（奇数月）。

新たに商業施設5店舗、公共施設1ヶ所に配置した。

Facebook 投稿件数 60件（うち、動画投稿6件）

twitter 投稿件数 40件

プレスリリース発信件数 1件

10 IT ネットワーク環境の整備・活用

オンライン会議の導入など、IT環境の整備やグループウェアを活用して事務処理及び情報共有の効率化をはかった。

11 いなべ市社会福祉法人連絡会の会務運営

市内7社会福祉法人が参加する、いなべ市社会福祉法人連絡会は新型コロナウイルスの

感染拡大を受け、未開催となった。

1 2 職員状況

正規職員		その他	
令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度
143名	136名	207名	209名

